

■5年間での取組 進捗状況調査票

項目	重点	取組内容	R 4 年度(主な取組状況)	実施確認					
				R3	R4	R5	R6	R7	
(1) 自然									
① 山・川・田園風景に着目した「体験型」観光の推進									
1	★	観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底	シルバー人材センターに委託し、定期的に右田ヶ岳登山者が利用する右田小学校屋外トイレの清掃を実施	○	○				
2	★	景観に配慮した案内板等の整備	市内の主要観光施設(防府天満宮、周防国分寺、毛利氏庭園、阿弥陀寺)に誘導するため、魅力あるデザインに一新(8月)	○	○				
3		地元自治会などの関係団体と連携した自然環境の維持管理	・旧山陽道(佐野～岩淵)除草作業を実施(6月、12月) ・旧山陽道(富海)除草作業(10月)	×	○				
4		四季ごとの眺望や景色のリアルタイムでの発信	・「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで、市内の花の見頃の紹介動画「ほうふ花だより」を配信(年12本) ・季節に応じた花の開花状況などをSNSで発信	○	○				
5		モデル周遊プランづくりとツアー情報の発信	未実施	×	×				
6	★	「まちなか登山」をキーワードにした大平山や右田ヶ岳等への登山誘客	右田ヶ岳への登山誘客に向け、ケーブルテレビ番組「ほうふほっとライン」を活用しPR(4月)	○	○				
7		佐波川でのカヌーやキャンプ、バーベキューなどのアウトドア体験の発信	未実施	×	×				
8	★	右田、小野、大道地区等の田園風景などに着目したトレッキングやサイクリングの実施と発信	未実施	○	×				
9		食材生産者との連携や協力による収穫体験や調理体験の実施及び発信	松田農園のみかん狩り情報を「たびたびほうふ」や山口県観光連盟による旅行関係者向けの観光素材集「西の国から」で発信	○	○				
10		「旬の食材冊子」を作成し、観光客や市民等への配布	県央連携(山口ゆめ回廊)において、「食の周遊促進事業」を展開。地元食材の紹介や新たなグルメ開発に向けて始動	×	○				
② 「海」をキーワードにした観光の推進									
1		海辺を中心とした清掃等の環境保全活動の実施	・富海海岸にて委託による定期的な清掃活動を実施 シルバー人材センター(4月～6月、9月～3月の期間、週3回) 富海海水浴組合(7月～8月の期間、毎日) ・富海海岸にてボランティア清掃活動を実施 自治会連合会と行政による清掃(6/25)、 地元企業主催による清掃(9/4) ・海洋ごみの発生抑制についての研修会及び海岸清掃を向島(10/10 28人)と野島(11/23 16人)	○	○				

2	★	観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底(再掲)	・老朽化した野島海水浴場のトイレ・シャワー室を撤去し、新たにユニットタイプのトイレ・シャワー室を設置 ・富海海水浴場のトイレの清掃をシルバー人材センターに委託し定期的に実施(週3回) ※7、8月は海水浴組合に委託(毎日)	○	○				
3	★	富海海水浴場や野島における案内看板等の整備	富海海岸(東屋)にマナーアップ看板を設置	○	○				
4	★	野島海運予備船「レインボーのしま」を活かした近海クルーズの実施	・(有)野島海運、周南市等と連携し「防府観光遊覧船レインボーのしまで行く周南コンビナートナイトクルーズ」を開催(8/19・2/23)【参加者各60人】 ・主船「レインボーあかね」予備船「レインボーのしま」を活用し、4月に団体貸切による大津島クルーズ(53人)、8月に団体貸切による周南工場夜景クルーズ(56人)を実施	○	○				
5	★	海水浴や海洋レジャー、釣りや海の家など「瀬戸内海体験」の発信	富海海水浴場を開設(7/9～8/14)し、市HPやSNS、「たびたびほうふ」で情報発信	○	○				
6		高級料理「天神鱧」の旅行商品への組み込みによる認知度の向上	「天神鱧」ブランドの展開として、テイクアウトに加え、新たに「全国通販」を実施【テイクアウト34件、全国通販12件】	○	○				
7	★	初夏の鱧や夏の虎魚(オコゼ)、冬の河豚(フグ)など瀬戸内海ならではの食体験を組み込んだ旅行商品の企画及び販売支援	未実施	×	×				
8		「旬の食材冊子」を作成し、観光客や市民等へ配布(再掲)	・旬な魚や料理などを掲載したチラシを毎月作成し、潮彩市場やうめてらす等で配布 ・県央連携(山口ゆめ回廊)「食の周遊促進事業」として、食のアンバサダーを通じ、地元食材等をSNSで発信	×	○				
③ 観光客や市民に資源の魅力や価値を最大限に伝えるプロモーションの推進									
1		身近な自然が気楽に楽しめることを市民や県民に向けて宣伝	・「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで、市内の花の見頃の紹介動画「ほうふ花だより」を配信(年12本) ・季節に応じた花の開花状況やイベント情報などをSNSで発信	○	○				
2	★	テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信	・FMわっしょいへの毎月出演や、・ほうふほっとライン等で市の魅力やイベント情報を発信	○	○				
3	★	インターネット時代に適応した動画等の多用やSNSなどの発信頻度の強化	・「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで、動画22本、ショート7本、ライブ2本を配信 ・ほうふ幸せますコンシェルジュのSNSを活用した発信 ・季節に応じた花の開花状況やイベント情報などをSNSで発信	○	○				
4	★	近隣県の旅行会社等に旅行商品への観光地組み込みを依頼	・県央連携(山口ゆめ回廊)事業で、広島発のモニターツアーを実施(8月)【18人】 ・JALパックでの東京発防府観光ツアー造成を支援し、「防府ツアー」を実施(9月)【6人】 ・県主催の大阪情報発信会で関西の旅行会社と商談(11月)	○	○				

5	賑わいを創出する団体等への継続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力	・防府市「賑わい創出」イベント開催支援事業補助金(8件) ・県央連携(山口ゆめ回廊)事業で「リアル宝探しゲーム」を実施(9月~12月) ・県央連携都市圏域内の自治体や周南市と連携し、相互に協力しイベント情報等を発信	○	○				
6	道の駅潮彩市場防府におけるおすすめ旬魚情報の発信	・旬な魚や料理などを掲載したチラシを毎月作成し、潮彩市場やうめてらす等で配布 ・ハモフェスについてSNSで発信	○	○				
7	★ 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致	・県主催の海外向け商談会で、補助制度や見所の売込を実施 ・クルーズ視察に同行し、市内の見所の売込を実施	×	○				

(2) 歴史

① 防府天満宮と周辺の参道等の回遊性向上

1	★ 観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底(再掲)	・毛利氏庭園(園内、駐車場)、阿弥陀寺のトイレ清掃をシルバー人材センターに委託し定期的実施	○	○				
2	★ 景観に配慮した案内板等の整備(再掲)	・市内の主要観光施設(防府天満宮、周防国分寺、毛利氏庭園、阿弥陀寺)に誘導するため、魅力あるデザインに一新(8月)	○	○				
3	参道の街並みや景観の美化	未実施	○	×				
4	駐車場台数を確保するための駐車場シェアリングシステムの普及促進	未着手	×	×				
5	★ 高齢化やまち歩きに対応したベンチや日よけなど休憩場所の増設(幸せますステーションを含む)	未実施	○	×				
6	着物の着付けや歴史ガイドツアー等「体験型観光」の推進	・和装記念撮影や抹茶体験、刀剣鑑賞付き「しあわせ大人女子旅」を催行(11月)	○	○				
7	モデル周遊プランづくりとツアー情報の発信(再掲)	・高校生職員で観光モデルコースを企画・提案(6月~12月) ・英雲荘を、着物の着付けや撮影場所として提供 ・文化財郷土資料館で歴史衣装の着付け体験イベントを開催	○	○				
8	食べ歩きメニューや、歴史をモチーフにしたメニューの開発と観光客等への提供	未実施	○	×				
9	四季ごとの眺望やSNSで映える景観の発信(再掲)	・「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで、防府天満宮関連周辺の動画2本、ショート動画3本、ライブ1本を配信 ・季節に応じた花の開花状況などをSNSで発信	○	○				
10	伝統の祭り等(花神子社参式や腰輪おどりなど)を地域の魅力と一緒に発信	防府天満宮御神幸祭を「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルでライブ配信	○	○				

② 防府天満宮から旧毛利家本邸など周辺施設への誘客

1	★ 景観に配慮した案内板等の整備(再掲)	市内の主要観光施設(防府天満宮、周防国分寺、毛利氏庭園、阿弥陀寺)に誘導するため、魅力あるデザインに一新(8月)	○	○				
---	----------------------	--	---	---	--	--	--	--

2	レンタサイクルサービスの充実	・きめ細かなメンテナンスを実施するなど、安定したサービスを実施 ・令和5年4月の着用義務化に向け、ヘルメットを整備	○	○			
3	駐車場台数を確保するための駐車場シェアリングシステムの普及促進(再掲)	未着手	×	×			
4	★観光地や駐車場の位置が一目で分かる観光看板の設置や地図システムへの登録	未着手	○	×			
5	★毛利元就没後450年や重源上人生誕900年の歴史的節目を活かした観光発信	・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と本市との関連性を生かした事業を実施 ①毛利家の祖「大江広元」役を演じている栗原英雄氏を毛利邸に招いてのステージトークを開催(4/23)【75人】 ステージトーク後、史跡周防国衙跡船所・浜ノ宮観光看板除幕式(4/23)に、栗原英雄氏や国府中学校生徒2名などを招き実施 ②防府にゆかりのある役を演じた山本耕史氏、横田栄司氏、迫田孝也氏、チーフ演出(監督)の吉田照幸氏を招きトークショーを実施(5/1)【907人】 ③ドライブスタンプラリー(4/23～7/22)【730人】、ウォークラリー(11/23・12/11)【15人】等の実施 ④毛利博物館・防府天満宮歴史館・文化財郷土資料館3館コンプリート企画「ほうふ3館の合議制」を実施【4/23～10/2】 ・種田山頭火生誕140年・山頭火ふるさと館5周年を記念して、特別企画展「山頭火と芭蕉・良寛 ～尊敬した先人たち～」を開催(9月～12月)【2,043人】	○	○			
6	文化芸術団体(茶道・華道・書道・舞踊など)へ、旧毛利家本邸等を大会会場として紹介	未実施	○	×			
7	★防府天満宮を含む「すごいな!すごいぞ!防府」4観光施設のほか、その他観光施設を活かしたイベント等の実施	・「すごいぞ防府!秋の大イベント」を開催(11/19、20)【総来場者数:1万人】 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と本市との関連性を生かした事業を実施(再掲) ・英雲荘にて、「三度の月見」イベントを開催 ・防府天満宮・阿弥陀寺等を巡るバスツアーを企画、実施 ・国分寺で、土堀づくりの体験イベントを開催 ・防府天満宮社殿内にて元気やまぐち創造プロジェクト「防府天満宮奉納演奏」の開催し、和太鼓奏者の林英哲氏と国内トップクラスの管弦楽演奏家によるコラボレーション演奏を実施(11/1)	○	○			
8	歴史ファンを取り込むためのストーリーのある各種イベントの実施(サブカルチャーを含む)	・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と本市との関連性を生かした事業を実施(再掲)	△	○			

9	専門家等を招へいた歴史講演等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と本市との関連性を生かした事業を実施(再掲) ①栗原英雄氏のステージトーク ②プレミアムトークショーin防府 ③ウォークラリーのためのNPOと防府商工高校の連携 	○	○					
10	★ テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・FM山口、FMわっしょい、鹿児島KBCラジオ、JFNラジオに職員が出演し、本市の歴史文化等の魅力をPR ・毛利博物館特別展「国宝」の開催に合わせ、四季山水図のパノラマ紙を制作しPR ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と本市との関連性を生かした事業を実施(再掲) ・ほうふほっとラインを活用し、イベント等の情報発信(毛利博物館企画展、無形民俗文化財等保存活用支援制度、山頭火の魅力)(4月・5月・9月・11月) 	○	○					
11	★ インターネット時代に適応した動画等の多用やSNSなどの発信頻度の強化(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・防府天満宮の七夕祭りや御神幸祭などを「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで配信 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と本市との関連性を生かした事業の情報をSNSを通じて発信 	○	○					
12	★ 近隣県の旅行会社等に旅行商品への観光地組み込みを依頼(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・県央連携(山口ゆめ回廊)事業で、広島発のモニターツアーを実施(8月)【18人】 ・JALパックでの東京発防府観光ツアー造成を支援し、「防府ツアー」を実施(9月)【6人】 	×	○					
13	明治維新150年事業で商品化した「日英饗応料理」の再商品化やストーリーの再構築	未実施	○	×					
14	「日英饗応料理」などの認定歴食への申請	未実施 「日英饗応料理」は相当な手間がかかるとのことであり、何を認定歴食へ申請するか今後検討が必要	×	×					
15	★ 観光ボランティアガイドや通訳案内士などの「おもてなし」人材の育成	・日本航空客室乗務員が「庭ガール」として毛利氏庭園内の案内を実施(11/20)	○	○					
16	★ 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の海外向け商談会に参加して補助制度や見所の売込を実施 ・クルーズ視察に同行し、市内の見所の売込を実施 	△	○					
③ 広域連携									
1	雪舟・大内文化のPR(山口市の県立美術館、本市の毛利博物館)	<ul style="list-style-type: none"> ・毛利博物館特別展「国宝」の開催に合わせ、新聞広告で四季山水図をPR ・ほうふほっとラインや市広報特集で毛利博物館企画展「国宝」の発信 	○	○					
2	★ 山口ゆめ回廊博覧会を契機とし、県央部の市町と連携した広域観光プログラムの造成と発信	・県央連携(山口ゆめ回廊)事業として、イベント「キッズサマーパス(7月～8月)」、「リアル宝探しゲーム(9月～12月)」を開催し、各市HPやメディア(県内民法テレビCM、テレビ番組等)を活用し情報発信	○	○					

3	毛利氏庭園の庭園間交流連携促進計画(通称:ガーデンツアーリズム)への登録を生かして、雪舟ゆかりの自治体と連携した広域での情報発信	・誘客の動機付けを図るため、「雪舟回廊」の構成庭園を中心としたパンフレットの作成(R5.3.31納品予定) ・「雪舟回廊」の構成庭園を巡るJAFドライブスタンプラリーを実施(4/20~12/23)	○	○				
4	賑わいを創出する団体等への継続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力(再掲)	・防府市「賑わい創出」イベント開催支援事業補助金(8件) ・JAFドライブスタンプラリー「山口ゆめ回廊ナナシマチコース(山頭火ふるさと館)」、「雪舟回廊コース(毛利氏庭園)」を実施(4月~12月)	○	○				

(3) スポーツ

① 「自転車」に着目したスポーツの推進

1	観光資源として来場者が楽しめる機能をもつ競輪場の整備	令和6年秋の新メインスタンド等の完成に向け、設計に着手	○	○				
2	市内の道路の再点検と、スポーツに適した路面等の検討	未実施	×	×				
3	トップアスリートとの交流イベントの実施	・防府記念競輪決勝出場者のサイン入りジャージが当たる抽選会をSNSで開催 ・新人選手紹介や選手のトークショーなどレース以外の楽しみをファンに提供できるイベントを実施	○	○				
4	★ サイクリングターミナルを拠点とし、佐波川自転車道を利用したサイクリングコースやトレッキングコースの設定とコース冊子の作成	未実施 ※2020年に県と連携し、「まちなかcyclingマップ」を作成	×	×				
5	★ サイクリングターミナルを拠点とした自転車クリニック等の実施	未実施 ※サイクリングターミナルの貸出用自転車については、毎年点検を実施	×	×				
6	競輪場の空間活用と情報発信	・正門広場や東門広場において、夏祭りや自転車祭り(8/6)、感謝祭(11/3~11/6)を開催し、宣伝チラシとポスターを配布 ・ケーブルTV「ほうふほっとライン」で競輪の魅力を発信	○	○				

② 防府読売マラソン大会の認知度と魅力の向上

1	市内の道路の再点検と、スポーツに適した路面等の検討(再掲)	防府読売マラソン大会の開催前にコースとなる道路を点検	○	○				
2	トップアスリートとの交流イベントの実施(再掲)	・川内優輝氏を講師に招き、「私の考える努力と夢」というタイトルで講演会をアスピラートで実施(8/19)	○	○				
3	情報発信による集客力の向上	・当日に向けてのカウントダウンや結果などSNSで発信 ・大会ホームページを基本とし、市広報及び新聞、テレビ、ラジオを用いて大会情報を広く発信 ・防府駅構内及び市役所へのカウントダウンボードを設置 ・アスピラートに防府読売マラソンコーナーを設置	○	○				
4	防府読売マラソン大会の開催にあわせた出店等による飲食機能の充実	・新型コロナウイルス感染防止のため、昨年度に引き続き飲食関係の出店は中止	×	×				

③ 施設の効果的な活用

1	★ 観光用公衆トイレの整備や清掃の徹底(再掲)	シルバー人材センターや指定管理者による定期的な清掃を実施(防府競輪場やソルトアリーナなど)	○	○				
2	駐車場台数を確保するための駐車場シェアリングシステムの普及促進(再掲)	未着手	×	×				
3	スポーツゾーンに適した周辺インフラ等の検討	・人工芝多目的グラウンドの夜間照明のLED化を実施(1月～2月工事中) ・陸上競技場ロビー自動ドア化及びLED化を実施	○	○				
4	ソルトアリーナ防府を中心としたスポーツゾーンの近隣市町への売り込み	施設を一括したパンフレットを新規に作成し近隣市町へ配布したほか、HPを通じてスポーツゾーンの情報を発信	○	○				
5	学生や実業団などへのスポーツ合宿等の誘致	スポーツ協会を通じた積極的な誘致により、実業団チームが市内で合宿を実施	○	○				
④ プロモーションの推進								
1	レノファ山口U-18など市内で活動するプロ等の情報の発信	・防府市サンクスデー(7/30)を通じたレノファ山口の情報を発信	○	○				
2	★ テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信(再掲)	・防府読売マラソン大会をはじめ、多くの行事をテレビ・新聞・ラジオのマスメディアを活用した情報発信を実施	○	○				
3	★ インターネット時代に適応した動画等の多用やSNSなどの発信頻度の強化(再掲)	防府市公式SNSを用いて各イベントの情報発信を実施	○	○				
4	賑わいを創出する団体等への継続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力(再掲)	未実施	○	×				
5	オリンピックイヤー等の国際イベントを活用した賑わい創出	未実施	○	×				
6	セルビア女子バレーボールチームのホストタウンとしての露出拡大	※ホストタウン事業は令和3年度で終了	○	-	-	-	-	-
7	★ 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致(再掲)	・県主催の海外向け商談会で補助制度や見所の売込を実施(再掲) ・クルーズ視察に同行し、市内の見所の売込を実施(再掲)	×	○				
(4) 生活文化								
① 地域資源の観光への活用								
1	★ 観光ボランティアガイドや通訳案内士などの「おもてなし」人材の育成(再掲)	日本航空客室乗務員が「庭ガール」として毛利氏庭園内の案内を実施(11/20)	○	○				
2	新春の一大文化イベントである「防府音楽祭」の情報発信の強化	・音楽のまち創造プロデューサーである田中雅弘氏を音楽監督として、第22回防府音楽祭を開催(1/6～1/9) ・音楽のまち創造プロデューサー田中雅弘氏の活動を通じて、「防府音楽祭」をPR	○	○				
3	文化芸術団体(茶道・華道・書道・舞踊など)へ、旧毛利家本邸等を大会会場として紹介(再掲)	未実施	○	×				
4	映画館を活用したイベントの開催	未着手	×	×				

5	★ 観光と文化に貢献する山頭火ふるさと館の運営	<ul style="list-style-type: none"> 企画展「山頭火と衣食住」(前期:3/18～6/12、後期:6/17～8/28)【9,426人】 種田山頭火生誕140年・山頭火ふるさと館開館5周年記念特別有料企画展「山頭火と芭蕉・良寛～尊敬した先人たち～」(前期:9/4～10/2、後期:10/7～12/5)【2,043人】 企画展「防府市内山頭火顕彰の歴史」(12/10～4/9) フォトコンテストや自由律俳句大会などのイベントを実施 	○	○				
6	★ 山頭火ふるさと館の施設改善	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと館東側入り口に門柱を設置(9/4) 	○	○				
7	文化財発掘や文献研究等の成果発表や、注目すべき成果の各種メディアを使った発信	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機に企画展「源平から鎌倉へ」を開催し、同時代の資料を体系的に発信 	×	○				
8	華道や鋳物文化などの地域の伝統文化の収集と発信	<ul style="list-style-type: none"> イベント(リアル宝探しゲーム、ドライブスタンプラリー等)の賞品に、鋳物などを設定しPR 刀剣鑑賞体験などを旅行商品として造成するための連携協議 	○	○				
9	賑わいを創出する団体等への継続的な支援や、協定締結都市等との連携、並びに各種メディアへの露出協力(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 周南市(観光振興協定を締結)と連携し実施するドライブスタンプラリーにおいて、地元産品をPR 周南市「みなとのミーツ」防府市「すごいぞ！防府秋の大イベント」において周南市との協働ブースを開設し、互いの地域資源のPRを実施 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機として、国東市で文化財出張展示(7/24)、寒河江市で観光PR(9/18) 	○	○				
10	地域に眠る食文化の発掘と商品化	<ul style="list-style-type: none"> 県央連携(山口ゆめ回廊)「食の周遊促進事業」として、食のアンバサダーを通じ、地元食材等をSNSで発信(再掲) 	×	○				
11	★ 市民総参加で盛り上がる防府おどりや「幸せますフェスタ」の開催	<ul style="list-style-type: none"> 3年ぶりとなる「春の幸せますフェスタ(4/29)」「防府おどり(7/30)」を盛大に開催 	×	○				
12	市南部の工業地帯や三田尻塩田記念産業公園を活かした産業観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> 山口ゆめ回廊事業「空の日フェス(宇部空港:10/16)」や「宇部まつり(11/6)」、サイコロきっぷ観光PR(新山口駅:1/14)等で、来場者に観光パンフレットに加え三田尻塩田記念産業公園で製造した塩を配布し、当園での塩づくり体験や本市の製塩文化等をPR 県央連携地域の中中学生以下を無料とした「キッズサマーパス」を実施(7/20～8/31) 	○	○				
② 地域資源のプロモーション・市民への普及								
1	市民と観光客が資源の魅力・価値を再発見する「観光プラットフォーム」の開発	未着手	×	×				
2	★ テレビ・新聞・ラジオなど既存のマスメディアを十分に活用した情報発信(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> 市政情報番組で浜子うたを取り上げ無形民俗文化財への認知を広げる情報発信を実施 	○	○				

3	★	インターネット時代に適応した動画等の多用やSNSなどの発信頻度の強化(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・「たびたびほうふ」YouTube公式チャンネルで、動画22本、ショート7本、ライブ2本を配信 ・ほうふ幸せますコンシェルジュのSNSを活用した発信 ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と本市との関連性を生かした事業の情報をSNSを通じて発信(再掲)。来訪した俳優が独自にSNSで防府の魅力を発信 	○	○				
4	★	防府「逸品食」に関する企画立案と新たな食文化の観光への取り組み	未着手。 「逸品食」の定義付けや今後の取組について、関係団体との協議が必要	×	×				
5		「(仮称)防府ライフスタイル」認定に関する制度設計や防府市観光振興推進協議会等との連携による候補の選定	未着手。 ※「防府ライフスタイル」の定義付けから制度設計等について、検討が必要	×	×				
6		「(仮称)防府ライフスタイル」の後世への継承活動		×	×				
7	★	新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンドやクルーズ船の誘致(再掲)	県主催の海外向け商談会に参加	×	○				